

「一般貸切旅客自動車運送事業」法令等試験問題

申請者名（事業者名）

記入者名（受験者名）

席
番
号

（注意事項）

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

I. 次の1から15までの文章で、正しいものには○印を、そうでないものには×印を（ ）内に記入しなさい。

1. 事業者は、運賃及び料金並びに運送約款を営業所その他の事業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。（道路運送法第12条）
()
2. 整備管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。（車両法施行規則第32条）
()
3. 事業者は、運行管理者を選任又は解任した場合及び運行管理の補助者を選任又は解任した場合は、当該届出事由の発生した日から15日以内に届出を行わなければならない。（運輸規則第68条）
()
4. 一般旅客自動車運送事業者は、安全統括管理者を選任し、又は解任するときは、国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣の許可を受けなければならない。（道路運送法22条の2）
(×)
5. 事業者及び一般乗用旅客自動車運送事業者は、一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して乗合旅客の運送を行うことができる。（道路運送法第21条）
()

6. 一般貸切旅客自動車運送事業とは、一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切つて旅客を運送する事業である。(道路運送法第3条)
- (○)
7. 事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、すみやかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を関係のある営業所に掲示しなければならない。(運輸規則第16条)
- (○)
8. 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して三十日間保存しなければならない。(運輸規則第3条)
- (×)
9. 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、地方運輸局長の許可を受けなければならない。(道路運送法第11条)
- (×)
10. 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業のため利用させてはならない。(道路運送法第33条)
- (○)
11. 事業者は、整備管理者を選任するときは、あらかじめ、地方運輸局長の許可を受けなければならない。(道路運送車両法第52条)
- (×)
12. 事業者の運転者は、乗務中、運行指示書を携行しなければならない。(運輸規則第50条)
- (○)
13. 全ての旅客自動車運送事業者は前年四月一日から三月三十一日までの期間に係る事業報告書を提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)
- (×)
14. 一般貸切旅客自動車運送事業において、営業所に配置する事業用自動車の数が40両の場合に必要な運行管理者の選任数は2人である。(運輸規則第47条の9)
- (×)
15. 事業者は、一般旅客自動車運送事業の運送約款に、運賃及び料金の收受又は払戻しに関する事項を定めなければならない。(道路運送法施行規則第12条)
- (○)

II. 旅客自動車運送事業の運行管理に関する次の文中、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(運輸規則第24条)

旅客自動車運送事業者は、乗務しようとする運転者に対して対面（運行上やむを得ない場合は電話その他の方法。）により（ ）を行い、次の各事項について報告を求め、及び確認を行い、並びに（ ）の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。

- ・道路運送車両法の規定による（ ）又はその確認
- ・（ ）の有無
- ・疾病、疲労、（ ）により安全な運転をすることができないおそれの有無

ア. 自動車の登録	イ. 運行指示書	ウ. 他社	エ. 事故歴	オ. 運動不足
カ. 酒気帯び	キ. 安全な運転	ク. 点呼	ケ. 教育	コ. 事業用自動車
サ. 健康診断	シ. 睡眠不足	ス. 指示	セ. 翌日	ソ. 点検の実施

III. 道路運送法に関する次の条文について、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(道路運送法第1条)

- ・道路運送法は（ ）と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の（ ）の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、（ ）を確保し、道路運送の（ ）の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって（ ）を増進することを目的とする。

ア. 利益	イ. 貨物自動車運送事業法	ウ. 車両数	エ. 公共の福祉	オ. 事業者
カ. 利用者	キ. 旅客の利便	ク. 旅行業法	ケ. 訪日外国人	コ. 輸送の安全
サ. 供給	シ. 道路運送車両法	ス. 需要	セ. 適正な運営	ソ. 道路交通法

IV. 事業者は、事業用自動車の運転者ごとに乗務員台帳を作成し、これを運転者の属する営業所ごとに備えておかなければなりません。下記の中で乗務員台帳に記載が必要な事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。

(運輸規則第37条第1項)

- | | |
|-------------------------|-------|
| ① 事業者の氏名又は名称 | (○) |
| ② 作成番号 | (○) |
| ③ 雇入れの年月日及び運転者に選任された年月日 | (○) |
| ④ 運転者の家族構成 | (×) |
| ⑤ 運転免許証の番号及び有効期限 | (○) |

V. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に定める一般乗用旅客自動車運送事業以外の旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等に関する次の文中、（ ）内に入る字句として正しいものを下欄から選び、（ ）内に記号を記入しなさい。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ・1日の拘束時間を原則13時間から延長する場合であっても、（ カ ）を超える回数は1週間につき2回が限度である。
- ・（ ク ）を平均した1週間当たりの拘束時間は原則として65時間が限度である。
- ・休日は、休息期間+24時間の連続した時間をいい、いかなる場合であっても、この時間が（ ス ）を下回ってはならない。
- ・1日の運転時間は2日（始業時刻から起算して48時間をいう。）平均で（ ア ）が限度である。
- ・運転開始後4時間以内又は4時間経過直後に運転を中断する場合の休憩等については、少なくとも1回につき（ コ ）以上としたうえで分割することもできる。

ア. 9時間	イ. 30分	ウ. 32時間	エ. 8週間	オ. 10時間
カ. 15時間	キ. 18時間	ク. 4週間	ケ. 28時間	コ. 10分
サ. 16時間	シ. 5分	ス. 30時間	セ. 6週間	ソ. 8時間

VI. 次の文中の（ ）の部分にあてはまる語句を 答. _____ の欄に記入しなさい。

1. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款では、ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員の宿泊費等当該運送に関連する費用は、（ ）の負担とします。
(標準運送約款第14条)

答. 契約責任者／旅客

2. 事業者は、法令の規定による通知に従い、一般貸切旅客自動車運送適正化機関に対し、（ ）を納付する義務を負う。(道路運送法第43条の15)

答. 負担金

3. 旅客自動車運送事業者は、運送の（ ）を受けた順序により、旅客の運送をしなければならない。ただし、急病人を運送する場合その他正当な事由がある場合は、この限りではない。(道路運送法第14条)

答. 申し込み

4. 旅客自動車運送事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して（ ）間保存しなければならない。(運輸規則第3条)

答. 一年

5. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、五年ごとにその（ ）を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。(道路運送法第8条)

答. 更新